

監督・競技者注意事項

本大会は、今回地区予選を行わなかったことから、種目によっては参加者が多数になっている。本来なら、トラック競技では準決勝を、フィールド競技では予選を行うべきであるが、小学生の体力、夏季であることを考慮し、従来通りのラウンドで実施する。ただし、走高跳、走幅跳では、2組に分かれて競技を開始し、走高跳では8名以下、走幅跳ではトップ8になった時点で1つのピットに統合する。

7時30分～8時30分 受付
8時45分～ 監督打ち合わせ

1. 競技規則について

本大会は、2011年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本注意事項に準じて行うが年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに進行する。

2. 練習について

ウォーミングアップは全て補助競技場で行う。

- ①補助競技場での練習は、全てトラック競技と同じ方向で走り、逆走は絶対にしないこと。
レーンを次の様に指定する。(全天候レーン流し、土のレーン Jog)
- ②走幅跳の練習は走幅跳ピットを使って行える。
- ③補助競技場にはハードルは設置しない。持参のハードルを使用する場合は、土のレーンの一番外側で必ず指導者がついて安全に留意して行うこと。また、1クラブでコースを独占しないこと。
- ④走高跳、ソフトボール投の練習は、補助競技場を含め本競技場以外では行わないこと。召集を受け本競技場に入ってから公式練習を行うことができる。

3. 招集について

- ①招集所は、第4ゲート(100mスタート側)、スタンド下に置く。
- ②招集完了時刻

	予選	決勝
トラック競技	競技開始時刻の20分前	競技開始時刻の15分前
フィールド競技		競技開始時刻の30分前

招集完了時刻に遅れると失格になり、当該競技に出場できなくなるので厳守すること。

③招集の方法

- (1)選手は、まず、招集完了時刻までに、招集所にある出場競技者一覧表の自分(チーム)の名前(ナンバー)を○で囲む。(一次チェック)
- (2)○をつけた後は、招集所で待機し、競技者係から最終点呼を受ける。この際、ナンバーカードの確認をするので、ナンバーカードを付けたユニフォームを着用していること。
- (3)最終点呼が済むと、競技者係の誘導に従い、競技場に入る。
- ④リレーとフィールド競技が重なった場合、フィールド競技を優先する。リレーの一次チェックは代理の者でよい。その際、フィールド・リレー同時出場用紙を招集所に提出すること。最終点呼は、他のメンバーが、フィールド競技に出場している旨、競技者係に告げる。また、選手は、それぞれのフィールド競技の審判に、リレーと兼ねていることを予め話しておくこと。選手は、ぎりぎりまでフィールド競技を行い、その場所から直接リレーの場所に移動すること。リレー終了後は、直ちにフィールド競技に戻る。この場合、競技場内を移動してよい。

4. ナンバーカードについて

- ①ナンバーカードは、支給された大きさのままで、ユニフォームの胸と背の部分に付ける。招集所で渡される腰ナンバーカードは右腰のやや後方に付ける。(写真判定のため。)腰ナンバーカードはフィニッシュ後、その場ではずし、必ず返却すること。
- ②走高跳に出場する選手も、胸と背の両方にナンバーカードを付けること。

5. 番組編成について

- ①トラック競技のレーン順は、プログラム記載の通りとする。欠場者のレーンは詰めずにそのまま空ける。
- ②トラック競技の決勝のレーン順は、主催者がルールに則って決定する。
- ③トラック競技の決勝進出者について
各種目とも記録上位8名が決勝に進出する。100m・80mハードル・リレーでは、8位が同記録であった場合、1000分の1秒までの記録で決定する。それでも決定しない場合は抽選を行うので、アナウンス後5分以内に総務席（メインスタンド1階中央）に集合すること。もし、100m、80mハードルの決勝を欠場する場合は、予選終了後1時間以内に総務に申し出る。選手にできるだけ機会を与えるため、予選記録9位以下の選手を繰り上げる場合がある。

6. 競技について

- ①リレーのオーダー用紙は、**招集完了時刻**1時間前までに招集所に提出すること。（競技開始1時間前ではない。）オーダー用紙は朝、受付で配布する。決勝に出場するチームは予選と同じオーダーでも再度提出すること。リレーのオーダーに関するルールが変更になっているが、現行ルールは適用せず小学生交流大会のルールを適用する。（予め登録した5名の中でオーダーを組む。）
- ②各走者は、走り終わってからも危険防止のために自分のレーンを走り、他のレーンに入らないこと。リレー競技では、次走者の付けたスタートマークのテープを必ずはがすこと。
- ③リレー競走では、ブルーライン（10mの助走区間）の使用ができる。
- ④**不正出発（フライング）については、新ルールを適用せず、従来通り1人2回で失格とする。**
- ⑤スターティングブロックは、競技場備え付けの物を使用すること。（使用しなくてもよい。）
- ⑥スタート姿勢は、クラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートでもよい。
- ⑦靴は、運動靴・スパイクシューズとし、素足は許されない。（夏季の全天候走路は火傷の恐れがある。）スパイクピンは長さ7mm以内の全天候用を使用すること。
- ⑧走幅跳は、まずA組とB組に分かれて3回の試技を行い上位8名を選出し、1つのピットに統合し、さらに3回の試技を行い順位を決定する。4回目以降の試技は3回目終了時点での8位の者から1位の者という順になる。
- ⑨走高跳は、A組とB組に分かれて試技を行い、8名以下になった高さから1つのピットに統合して競技を行う。
- ⑩ソフトボール投の試技は3回とする。
- ⑪走高跳は、マットへの着地は足裏からとし、背・腰・尻からの着地は無効試技とする。（はさみ跳び・正面跳び等とし、背面跳び・ベリーロールは禁止する。）
- ⑫走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。（当日の状況により変更があり得る。）

男子	（練習1.05）	1.10-1.15-1.20-1.25-1.28-1.31-1.34-以降3cm ずつ
女子	（練習1.00）	1.05-1.10-1.15-1.20-1.23-1.26-1.29-以降3cm ずつ

- ⑬フィールド競技の試技の時間は、1分以内である。名前を呼ばれてから1分以内に試技を開始しなかった場合は、無効試技（赤旗があがる）となる。なお、走高跳で残りの選手が少なくなった場合は、この限りではない。
- ⑭リレーを兼ねているため、フィールド競技のそのラウンドの試技を行うことができなかった選手は、そのラウンドはパスをした扱いになる。ただし、そのラウンドに間であって戻った場合は、試技順に関係なく、試技を行うことができる。
例）走幅跳、ソフトボール投は、1回目の試技の途中に戻った場合
走高跳は、その高さの試技の途中に戻った場合

⑮80mハードルについて

高さ	台数	スタートから1台目まで	ハードルとハードルの間	9台目からフィニッシュまで
70cm	9台	13m	7m	11m

- ⑯ソフトボール投は教育用1号球を使用し、15m以内の助走ができる。スパイクの着用はできる。
- ⑰選手は、競技場内に、携帯電話・トランシーバー等の通信機器や、ミュージックプレイヤー等の機器を持ち込むことはできない。

⑱ 競技中の監督からの助言について

監督がスタンドから選手に指示を出すことは、競技運営上や他の選手の妨げにならない範囲で認められる。この場合、選手は競技場所を離れることはできないので、選手をスタンドの近くまで呼ぶことはできない。

7. 抗議について

競技の結果、行為に関する抗議は、予選は正式に記録が発表されてから15分以内に、決勝は30分以内に監督が審判長に行う。競技に関する決定権は審判長にあり、個々の審判員に抗議をすることはできない。また、抗議は監督のみが行うことができ、保護者の抗議は受け付けられない。正式な発表とは、放送による発表を指し、これ以降（大会終了後も含めて）の抗議は一切受け付けない。

8. 表彰について

表彰は、全競技終了後、15時30分から、メインスタンド前で行う。

8位までの入賞者は、競技時の服装（ユニフォーム）で集合すること。

- ① 8位までの入賞者に賞状を授与する。（リレーの賞状はチームで1枚）
- ② 3位までの入賞者にはメダルを授与する。
- ③ リレーはエントリーしたメンバー全員が対象なので、メダルも5人に授与する。

9. 全国大会について

- ① 第27回全国小学生陸上競技交流大会は、8月26日（金）27日（土）横浜・日産スタジアムで行われる。
- ② 表彰式終了後、各種目優勝者の指導者・選手は、全国大会について説明があるので、該当する指導者は、表彰を受ける選手と同じ場所に集合すること。
- ③ 全国大会出場は1人1種目のため、個人種目優勝者がリレーの代表となった場合、2位以下の選手が県代表となることがある。（該当選手の指導者に放送により連絡する。）
- ④ 全国大会は、8月26日（金）朝から28日（日）昼まで岩手県選手団として同一行動をとらなければならない。他スポーツとの関わりなどで、途中からの参加、途中での帰宅、別交通機関での移動などは一切認められない。

10. その他

- ① 全ての結果をアナウンスすることは出来ないため、メインスタンド正面玄関前の掲示板に表示する。
- ② メインスタンドへのテント等の設置は禁止する。また、メインスタンドへの横断幕・のぼり等の掲示もできない。
- ③ スタンドでは互いに譲り合い競技を観戦、応援すること。スタンド通路、最前列で立って応援することは絶対にないようにすること。
- ④ 駐車場にテントを設置することはできない。
- ⑤ 車両は必ず駐車場に停めること。乗り降りを含めて、路上駐車は絶対にしないこと。
- ⑥ 補助競技場に貼った、リレーや助走のマーク（テープ）は、各自責任をもってはがすこと。また、使用した器具は必ず片づけること。毎年、補助競技場に使用した器具が片づけられず放置され、普及委員が片づけている。